



2017年 夏目漱石生誕150周年に向けて

夏目漱石記念施設整備プロジェクト Vol.3

講演会とシンポジウム「夏目漱石と青春」



新宿区は、国民的文豪・夏目漱石(1867年～1916年)が生まれ育ち、その生涯を閉じたまちです。
 区では、漱石生誕150周年に当たる平成29年(2017年)2月の開館を目指し、「夏目漱石記念施設整備基金」を設置し、漱石にとって初の本格的な記念館の整備を進めています。
 漱石やその作品の魅力と、記念館の整備事業について情報発信する「夏目漱石記念施設整備プロジェクト」の第3弾イベントを開催します。
 【問合せ】文化観光課文化資源係(〒160-8484歌舞伎町1-4-1、本庁舎1階) ☎(5273)4126・☎(3209)1500へ。

【日時】12月14日(日)午後2時～5時(午後1時15分開場)

【会場】早稲田大学大隈記念講堂大講堂(西早稲田1-6-1)

【共催】朝日新聞社、早稲田大学

第1部 新宿区夏目漱石コンクール優秀作品表彰式

【講評】半藤一利(作家、同コンクール審査委員長)

小学生を対象に絵画を、中学生を対象に読書感想文を、全国から募集しました。優秀作品を紹介するとともに、表彰式を行います。漱石に関する随筆を発表されている半藤一利さんが講評します。

第2部 講演「漱石と私」【講師】夏川草介(作家、医師)

ベストセラー小説『神様のカルテ』の著者で、漱石ファンとしても知られる夏川草介さんに、漱石の魅力を語っていただきます。また、地域医療の最前線でも活躍する夏川さんとともに、漱石の時代から現代まで等しく受け継がれる「命の尊さ」について考えます。

第3部 シンポジウム「もっと若者に漱石を！」

【出演】夏川草介、森まゆみ(作家・地域文化研究者)、香日ゆら(漫画家)、新宿区長
コーディネーター/牧村健一郎(朝日新聞記者)

第2部にも出演される夏川さん、下町エリア「谷根千(谷中・根津・千駄木)」研究家で『千駄木の漱石』の著者・森まゆみさん、漱石と門下生を4コマ漫画で描く香日ゆらさんに、若い世代にも伝えたい漱石文学の魅力についてお話しいただきます。



夏川草介

申込み

はがき(往復はがきではありません)かファックスに4面記載例のほか希望人数(2名まで)を記入し、11月4日(必着)までに文化観光課文化資源係へ。小学生までは保護者同伴。定員1,000名程度。応募者多数の場合は抽選し、11月中旬に、当選者のみに入場券をお送りします。

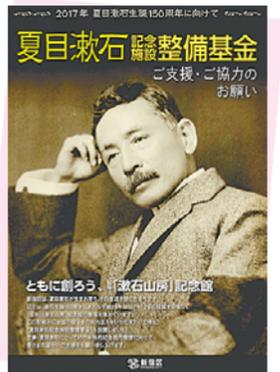
ともに創ろう、(仮称)「漱石山房」記念館 夏目漱石記念施設整備基金に ご支援・ご協力をお願いします

漱石ゆかりの新宿のまちに、初の本格的な漱石記念館を整備するため、多くの方にお力添えをいただきたいと考え、昨年7月から寄付を募集しています。10月1日現在で4,876万2,000円(866件)の寄付が寄せられています。皆さんからの寄付は、記念館の建設と資料の収集に活用します。一口1,000円から寄付できます。引き続き、温かいご支援・ご協力をお願いします。

寄付の方法

ゆうちょ銀行・郵便局の窓口・ATM

文化観光課・特別出張所・区立図書館等で配布しているパンフレット(右図)にはさみ込んである振替払込書(払込取扱票)に必要事項を記入し、お近くのゆうちょ銀行・郵便局の窓口・ATM(現金自動預払機)で払い込んでください。



新宿区長選挙

投票日は
11月9日(日)
午前7時～午後8時

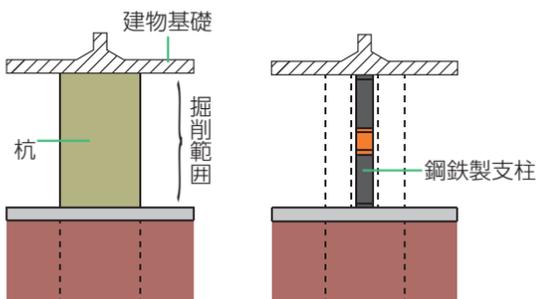
投票日当日に投票所に行けない方は「期日前投票」ができます。投票日当日とは異なり、いずれの期日前投票所でも投票できます。

【期日前投票所】
区役所第1分庁舎1階ロビー
特別出張所(10か所)
【問合せ】区選挙管理委員会事務局
(第1分庁舎3階) ☎(5273)5230へ。

区役所本庁舎の 免震改修工事

進ちょく状況をお知らせします

<現在の状況> 建物基礎下の土の掘削が完了し、建物を鋼鉄製支柱等で支えています。



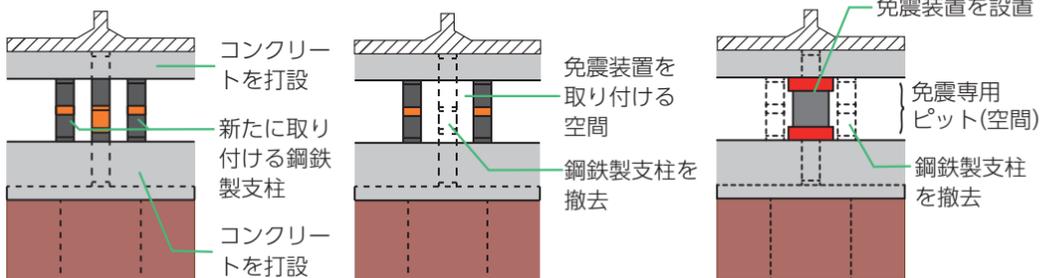
建物下部の土を掘削しました ⇒ 杭を切断して鋼鉄製支柱を取り付け、建物の荷重を支えています

建物下部の掘削が完了しました

大地震に遭遇した後も区の防災拠点としての機能を果たし、継続して使用できるよう、基礎下免震構法による免震改修と防災機能強化のための工事を、27年11月中旬まで実施しています。

【問合せ】総務課庁舎耐震改修担当(本庁舎3階) ☎(5273)3604・☎(3209)9947へ。

<これからの工事> 免震専用ピット(空間)を構築し、免震装置(※)を取り付けます。
※免震装置…ゴムの柔軟性により、地震時に揺れを建物に伝えにくくします。



コンクリートを打設し、新たに鋼鉄製支柱を取り付けます ⇒ 中央の鋼鉄製支柱を撤去して、免震装置を取り付けるための空間を作ります ⇒ 構築した免震専用ピット(空間)に免震装置を取り付け、鋼鉄製支柱を撤去します

11月15日(土)～27年3月上旬

本庁舎と第1分庁舎との地下連絡通路を通行止めになります

本庁舎と連絡通路の間にエキスパンションジョイント(★)を新たに設ける工事を行うため、11月15日(土)～27年3月上旬は、地下連絡通路は通行できません。4階連絡通路は、引き続きご利用いただけます。

★エキスパンションジョイント…免震部分と非免震部分との境目に設ける隙間

本庁舎を利用する皆さん、近隣の皆さんへの影響が極力ないように工事を実施しますので、ご理解・ご協力をお願いします。